

製品名: UCP3 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81664**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	34.2kDa

抗原情報

遺伝子名	UCP3
別名	SLC25A9
遺伝子 ID	7352.0
SwissProt ID	P55916
免疫原	大腸菌で発現したヒト UCP3 (AA: 1-113 および 217-312) の精製された組み換え断片。

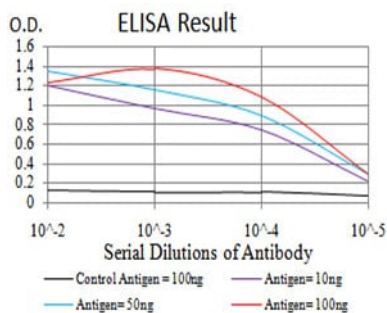
背景

ミトコンドリア脱共役タンパク質 (UCP) は、ミトコンドリア陰イオン輸送タンパク質 (MACP) ファミリーに属するタンパク質です。UCP は、酸化的リン酸化と ATP 合成を分離し、その際にエネルギーを熱として放出します。このエネルギーはミトコンドリアアブ

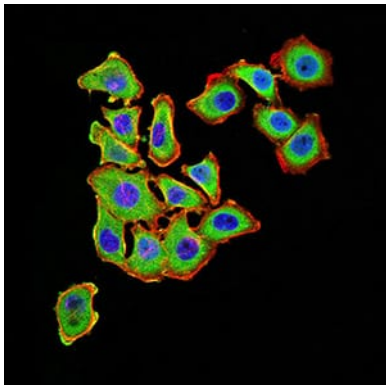
ロトンリークとも呼ばれます。UCP は、ミトコンドリア内膜から外膜への陰イオンの移動と、外膜から内膜への陽子の移動を促進します。また、哺乳類細胞においてミトコンドリア膜電位を低下させます。UCP は組織特異的に発現しており、この遺伝子は主に骨格筋で発現しています。この遺伝子のタンパク質産物は、脂質誘導性酸化ストレスからミトコンドリアを保護すると考えられています。ミトコンドリアへの脂肪酸供給が酸化能力を超えると、この遺伝子の発現レベルが増加し、このタンパク質がミトコンドリアからの脂肪酸の排出を可能にします。UCP は、MACP に典型的に見られる 3 つのソルカータンパク質ドメインを含んでいます。この遺伝子には 2 つのサブライス バリエーションが見つかりました。

研究分野

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



UCP3 マウス mAb (緑) を用いた HL-7702 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。